

研究報告会（2019.12.9）閉会挨拶

運輸総研理事長の佐藤です。閉会に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

まず最初に、年末のご多忙の中にもかかわらずご出席いただいた大勢の皆様、特別講演及び対談をお引き受けいただいた白石隆先生と森地茂先生、そして日頃より私ども研究所の活動をご支援いただいている日本財団様に対しまして、心より御礼を申し上げます。

本日の研究報告会を振り返ってみますと、全体を貫くキーワードは「アジア」であったと考えられます。白石先生には「米中新冷戦時代におけるアジア」という演題でご講演いただきましたし、これに引き続く二つの研究発表は、ASEAN及びインドを念頭に置いた都市鉄道整備と沿線開発に関するものでした。また、前半には、韓国出身のチェ研究員、ベトナム出身のヌエン研究員からの研究報告もありました。

私ども運輸総研は、活動方針として3本柱を立てており、そのうちの 하나가「国際的な活動や国際連携をより一層強化すること」であります。本日の研究報告会は、まさにこの大方針に沿ったものであったと考えております。

今後とも、「国際的な活動や国際連携の強化」に加え、3本柱の残る2本、すなわち「研究所に期待されるニーズに即した活動に集中すること」「より一層、世の中の役に立つこと」という大方針に沿って、研究調査活動を行うとともに、その成果を報告してまいりたいと考えておりますので、引き続き皆様のご指導、ご支援を賜りますようお願いを申し上げます。

最後に、新しい年、オリンピック・パラリンピック・イヤー2020年が、皆様にとりまして良い年となりますことを祈念いたしまして、私のご挨拶とさせていただきます。

本日は、誠にありがとうございました。